

コロナ禍での地域福祉。 試行錯誤しながら各地域で奮闘しています！

地域の独自性を大切にしながら 今できることを皆で考えています

今年度は郷づくり地域福祉部会主催のふれあいサロンや敬老給食が中止となりました。地域福祉部会では、コロナ禍でもできることを探りながら、今年度は小学校の消毒作業のお手伝いや地域の状況を知るための「生活支援ニーズ調査」の調査票の案を作成しました。コロナ禍でもできることを考えながら、支え合いの輪を地域に広げていきたいと考えています。



上西郷 磯野SC

サロンに集えないならば・・・ つながりを絶やさない取り組みを

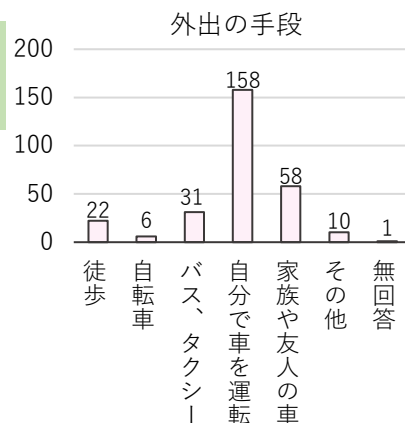
大和1区福祉会では、公民館に集ってのサロン開催を中止しているため、昨年中スタッフで手分けして高齢者宅の見守り訪問を実施しました。外出できない日々が続くため「自宅に少しでも彩りを」と考え、お花を一緒にお届けして大変喜ばれたそうです。早く他地域のサロンを見学に行ったり、充実した情報交換をできる様になれば良いなと思います。



福間 廣渡SC

アンケート調査を光陽台4区・6区で 行いました！集計・分析中です！

光陽台4区・光陽台6区で70歳以上の方を対象に「生活に関するアンケート調査」を配布・回収しました。光陽台4区では140人、光陽台6区では168人の方に回答いただきました。現在、社会福祉協議会にて集計・分析をしています。日常生活上の困りごとや外出の状況など様々なことが見えてきましたので、今後郷づくりや自治会の活動を検討する際に活かしていきたいと思ひます。



神興 金本SC

生活支援コーディネーター(SC)は、地域の「あること(社会資源)」と「あったらいいな(地域ニーズ)」を見つけ、つなぎ合わせたり足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支え合いの体制づくりを進めていく役割を担っています。